

校内研修「働き方改革」ガイド

教職員の「働き方改革」に係る意識を醸成するために、校内研修のガイドとして研修例を作成し、Webページに提供しています。原則、STEP 1 からSTEP 4 の手順で行うことが望ましいですが、それぞれの学校の実態に合わせ、順番を入れかえるなど工夫して計画的に活用してください。

校内研修プログラム Web版

<https://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ksi/hatarakikata/kounaikenshu.html>



STEP 1

研修テーマ：働き方改革の意義について考える

気付き	『Road』第1章から第3章を読み込む。	(15分)	事前に読み込んでおくことが望ましい
対話	「働き方改革を進めていくのは、なぜだと感じましたか？」 ・個人で記入する。 ・記入した内容についてグループで交流する。 ・グループの意見を全体交流する。	5分 15分	・個人ワーク ・グループワーク (4～5名グループ) ・全体共有
振り返り	「自校の働き方改革をどのようにすすめますか？」 ・『Road』第3章の8段階のプロセスを参考にグループで話しあう。 ・グループの意見を全体交流する。	15分	・グループワーク (4～5名グループ) ・全体共有
振り返り	「自校の働き方改革のために、自分は明日から何をしますか？」 ・個人で記入する。	10分	・個人ワーク

～WhatやHowではなく、Whyが大切～

対話 「自校の働き方改革をどのように進めますか？」

個人ワーク (8段階のプロセスを参考に現状を確認し、「何を求めるか。」を記入する)

グループワーク (グループ交流のメモ)

全体交流 (全体交流を通して、取り組めるようなことを考える。)

【Road 8段階のプロセス】

前提条件

①課題意識を高める

②コアチームの設置

③改善テーマの設定

④目標の設定・周知

⑤行動・環境整備

⑥短期的成果の共有

⑦さらなる改革推進

⑧新たな文化の構築

STEP 2

研修テーマ：自校のアクション・プランを作成しよう

気付き	『Road』第7章 チェックリストをマークする。 【改善されたもの：○ 改善途中のもの：△ 取り組まれているもの：×	10分	・個人ワーク
対話	・重要度と緊急度による選択の必要性を確認する。 ・チェックリストから、重要度の高いものを選択する。 ・選択された項目を、緊急度の高いもの順に並べ替える。	5分	・個人ワーク
対話	・選択した項目をグループで交流する。 ・グループの意見を全体交流する。	15分	・グループワーク (4～5名グループ) ・全体共有
振り返り	・自校のアクションを全体で絞り込む。 ・アクションをいつまでに、どのように取り組むか、話し合う。	15分	・全体共有

重要度と緊急度による選択

○チェックリストをマークする

働き方改革 チェックリスト 「Road」

重要度と緊急度による選択

○チェックリストの「△」と「×」の中から重要度の高いものを10項目選出する。(番号を記入)

課題の焦点化 (個人ワーク用シート)

○選ばれた項目を緊急度の順に並べる

緊急度	項目
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

STEP 3

研修テーマ：プロジェクトチームでアクションしよう

課題把握	・学校における業務で変えたいことを書き出す	10分	・個人ワーク
焦点化	・書き出した業務をカテゴライズする。(KJ法) ・カテゴライズした項目を発表し、全体で絞り込む。 →3～5項目に絞り込む	15分	・グループワーク (4～5名グループ) ・全体共有
プロジェクトチームづくり	・カテゴライズした項目毎に、プロジェクトチームをつくる。 ・自分が所属したいチームを選択する。 ・プロジェクトチーム毎にリーダーを選出する。	10分	・全体共有
アイデア創出	・プロジェクトリーダーがチームを招集する。 ・プロジェクトチームでアイデアを話し合い、提案する。 ・アイデアについて、現状、改善策、期間を話し合う。	適宜	・プロジェクトチーム
提案	・提案された改善策を職員会議で提案する。		・職員会議
アクション	・アクション		・全校教職員
振り返り	・取組の成果をアンケート集計し、交流する。 ・修正案、廃止案を検討する。	15分	・全体共有

プロジェクトチームによるアイデア創出
→ アクション

課題把握 「学校における業務で変えたいことを書き出す」

個人ワーク (自分の気付かなかったものをメモする)

グループワーク (自分の気付かなかったものをメモする)

全体共有

焦点化

全体共有

STEP 4

研修テーマ：働きがいのある職場をつくろう

研修の意義	・研修の意義について、解説のシートを読む。	5分	・全体
課題把握	・働きがいについて、理想と現実のギャップを交流する。(口頭)	15分	・グループワーク (4～5名グループ)
業務(タスク)の洗い出し	・今、抱えている業務の中で行き詰まっているものを3つ書き出す。	5分	・自己ワーク
自己分析	・自分の「情熱」「強み」「価値」を書き出す。 「情熱」：仕事に抱く強い興味・関心があること 「強み」：スキル、経験など、現在の業務に活かしていると思われる能力 「価値」：教職人生の中で最も重要なこと、仕事を通じて最終的に得たいこと	5分	・自己ワーク
業務の見つけ直し	・行き詰まっている業務と「情熱・強み・価値」のつながりから、業務のやり方や量を再検討する。	10分	・自己ワーク
人間関係づくり	・「情熱・強み・価値」を活かすために、「誰」と「どのような関係」を作るかを考える。 ＜関係の例＞親くなる、連絡し合う、教わる、教える、協力する、縁を切る 等	5分	・自己ワーク
仕事の価値	・手詰まりとなっている業務の意味・意義を心地よい言葉で表現してみる。 ＜言葉の例＞空港シャトルバス運転手→「世界の人々をつなぐ人」	5分	・自己ワーク
交流	・それぞれの考えをグループ内で交流する。	15分	・グループワーク (4～5名グループ)
働きがいの構築	・「やらされ感」を働きがいに変えるために、明日からどのような行動を取りますか？助けてくれそうな人は誰で、どのような援助を求めますか？克服すべき課題にどのように対応しますか？	10分	・自己ワーク
振り返り	・研修を通して、働きがいについて感じたことを記入する。 ・明日からの自分の行動をシートに書き込む。(後ほど、一覧にして、全員にシェアする。)	10分	・自己行動決定 ・全体共有

業務の見つけ直し → 働きがいの構築

業務(タスク)の洗い出し → 自己分析

個人ワーク (A) 個人ワーク (B) 情報

「今、抱えている業務の中で行き詰まっているものを3つ書き出す。(やらされ感の強い業務)」

情熱

強み

価値

個人ワーク (C) 「行き詰まっている業務と「情熱・強み・価値」で関連しそうなものを結び結びしよう。」

校内研修を通して、働くことの意義を確認し、自らの「働きがい」を見つけることができます。